

硝酸化成抑制材 & 硫酸カルシウム配合

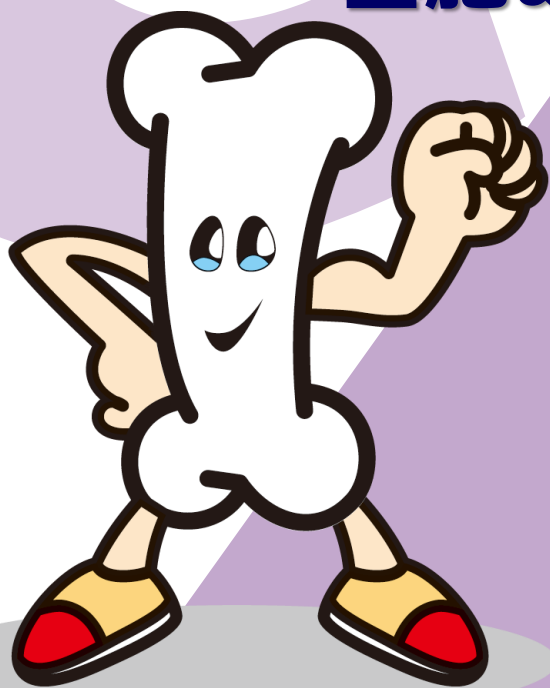
カルセツト



^N ^P ^K
10-12-10

ジシアン入りだから**肥効が長い!**

基肥&追肥にもオススメ!



供給

JAグループ
農業協同組合

全農

製造

KCCC
片倉コープアグリ株式会社

硝酸化成抑制材 & 硫酸カルシウム配合

カルセット020



保証成分 (%)

チッソ	チッソ		リン酸	カリ
	内アンモニア性	内ジシアン性		
10	7.2	1.0	12	10

容量 : 20kg

特長

1. **硝酸化成抑制材(ジシアンジアミド)**を配合しており、チッソが無駄なく長く効くので肥効が緩やかに持続し、**追肥回数の削減**が期待できます。
2. この肥料は水溶性カルシウムを含む**硫酸カルシウム**を配合しています。
3. **基肥**はもちろん、**追肥**としても利用できます。
4. 粒状肥料なので**機械散布**にも適しています。



施用例

対象作物	施用量目安 (10aあたり)	施用方法	
根菜類 ニンジン、ダイコン、ゴボウ、ジャガイモなど	3~6袋 (60~120kg)	基肥	全面全層 または 畝内施肥
葉菜類 ネギ、キャベツ、ハクサイ、ホウレンソウなど	5~10袋 (100~200kg)		
果菜類 トマト、キュウリ、カボチャなど	3~6袋 (60~120kg)		
全般	2~4袋 (40~80kg)	追肥	株間・畝間

※上記以外の作物にも施用できます。施肥量は、品種、圃場条件などによっても異なりますので、適宜増減してください。詳しい施用方法はお近くのJAにご相談ください。

ミニコラム ~硫酸カルシウムのココがすごい!~

◆水溶性カルシウムが多く速効性

硫酸カルシウムの溶解性は水100gあたり210mgであり、炭カルの1.4mgに比べると100倍以上です。そのため、硫酸カルシウムの肥効は炭カルに比べて速効性であり、作物によく吸収されます。

◆下層土の改良

硫酸カルシウムは炭カルに比べてカルシウムの溶解性が高いため、作土に施用しても下層土へのカルシウムの移行が炭カルよりも速く、すみやかに根にカルシウムを供給できるため、作物の根張りが良くなります。

◆土壌pHを上昇させない

硫酸カルシウムの水溶液のpHは約5.1なので、施用しても、土壌pHを上げません。

カルシウムの役割

カルシウムは作物の体を丈夫にし、生育に大きな役割を果たしています。カルシウムが作物の体内でどんな働きをするのか簡単にまとめてみました。

